

内閣府「プラスチックごみ問題に関する世論調査」の結果

まとめ≡ごみかん運営委員 小野寺 勲

プラスチックごみ問題に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため実施したアンケート調査の結果。全国の18歳以上の日本国籍を有する者3,000人を対象として、2022年9月1日～10月9日に郵送法にて調査。有効回収数1,791人（有効回収率59.7%）。調査結果を一部割愛して掲載。

①レジ袋有料化やプラスチック新法施行による 関心や行動の変化 (%)

以前よりプラごみ問題への関心が高く、マイバッグ・マイボトルの持参など具体的な行動をとっていた	19.3
プラごみ問題への関心が高まり、マイバッグ・マイボトルの持参など具体的な行動を行うようになった	58.8
プラスチックごみ問題への関心は高まったが、行動に変化はない	16.2
プラスチックごみ問題への関心は高まっておらず、行動に変化はない	4.2
無回答	1.5

②レジ袋有料化後のレジ袋の辞退状況 (%)

有料化以前からレジ袋を辞退している	16.1
有料化後からレジ袋を辞退している	44.1
レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている	25.3
有料化後もレジ袋を購入している	13.3
無回答	1.2

③過剰だと思うプラスチックを使用した製品やサービス（複数回答） (%)

レジ袋	22.1
飲み物と一緒に提供されるストロー	24.2
飲み物と一緒に提供されるかき混ぜ棒	33.6
食べ物と一緒に提供されるスプーンなどの食器	27.8
お弁当で使われている使い捨て小分け用容器や飾り	50.2
ペットボトルのラベル	40.2
菓子類などの個包装	26.5
スーパーなどに置いてあるロール状のポリ袋	13.5
通販などで運搬の際に使用される包装や緩衝材	38.9
カミソリやくしなどのアメニティグッズ	25.1
クリーニングで提供されるハンガーや衣類用カバー	23.2
その他	4.7
無回答	2.8

④プラスチックごみ問題解決に向けた取り組み（複数回答） (%)

マイボトルを持参することにより、ペットボトルなどの使い捨ての飲料容器をできる限り使用しない	45.4
スプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズをできる限り受け取らない	45.3
自治体などの分別ルールに従って、プラスチックごみと他のごみを正しく分別する	77.6
再生プラスチックなどのリサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ	30.8
清掃活動に積極的に参加する	12.6
使用後も再利用するリユースや修理をして再度利用可能とするサービスの活用を積極的に行う	20.7
詰め替えパック、発泡トレイなど使用済みプラスチック製品の店頭回収に協力する	56.1
企業や自治体による環境に良い取り組みの実績に関する掲示や発表を読む	12.3
その他	2.2
プラスチックごみ問題に関心はなく、今後、新たに組み組んでみたいと思うことはない	3.4
無回答	0.3

⑤環境に配慮した代替製品の購入条件 (%)

価格と品質ともにこだわらず、環境に配慮された製品を購入	10.9
従来品と比べて多少価格が高くても、品質が同等であれば購入	16.7
従来品と比べて多少価格が高くても、品質が高ければ購入	12.8
従来品と比べて価格が同じであれば、多少品質が低くても購入	12.6
従来品と比べて価格も品質も同等であれば購入	31.5
従来品と比べて価格が安ければ多少品質が低くても購入	6.1
購入にあたり環境に配慮した製品か否かは考えない	5.5
無回答	3.9